

企業紹介

あらゆる産業廃棄物を圧縮し 固める「デュアルプレタイザー」



株式会社 小熊鉄工所

代表取締役社長 小熊 哲郎
本社・工場 / 〒945-1341 柏崎市茨目1253
TEL(0257)22-3781 FAX(0257)24-0173
URL <http://www.oguma-iron-works.com>

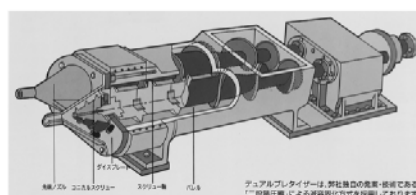
業 種：一般機械製造
資 本 金：1,000万円
事業内容：産業廃棄物処理プラントなどの設計・製作、
デュアルプレタイザーなどの設計・製作・
販売

現在、環境問題などから産業廃棄物等の処理・再資源化への積極的な取組みが求められている。株小
熊鉄工所は約20年前から資源リサイクルシステム構築に取り組んでおり、同社の開発した減容固化機は、
あらゆる産廃物の容量を減らせるとともに、廃プラスチックなどを固形燃料に再生でき、全国の自治体や
産廃物処理業者で広く利用されている。

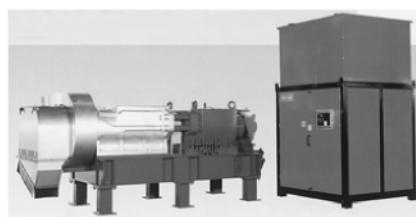
いち早く資源リサイクルシステムを構築

同社は、創業当初から資源リサイクルシステム構築に取り組んでおり、1985年には産廃物を圧縮し容量を減らす減容固化機「デュアルプレタイザー」第1号機を開発。90年には財クリーン・ジャパン・センターから再資源化貢献企業に認定され、「クリーン・ジャパン・センター会長賞」を受賞した。また、「産業廃棄物の圧縮成型装置」や「燃料供給装置」など、減容処理システムにおいて8つの特許を取得しており、技術力においても高い評価を得ている。

財クリーン・ジャパン・センター：経済産業省、日本商工会議所、経済団体連合会等をはじめとする官民一体の支援のもとに設立されたリサイクル推進のナショナルセンター。



▲独自のノウハウが凝縮されている
「デュアルプレタイザー」



▲国内初の油圧式減容固化機
「デュアルプレタイザーDP-100H・S」

廃プラスチックなどあらゆる廃棄物を減容固化

同社の減容固化機「デュアルプレタイザー」は、破碎機で細かく砕いた廃棄物をスクリーンで1/5~1/30まで圧縮し固形化する。減容固化技術は特許を取得しており、固形化しづらいものや水分を多く含むものでも容易に固形化できる。また近年、再生困難な廃プラスチックは固形燃料(RPF)として再利用できるようになり、RPFは石炭の代替燃料として利用が増している。そうしたなか、「デュアルプレタイザー」はRPF製造装置としても使用でき、現在、同製品は全国の自治体や産廃物処理業者、製造工場など200カ所以上に納入されている。

さらに05年5月、これまでの電力駆動から油圧モーターを使った国内初の油圧駆動式減容固化機を開発。これまで以上に処理可能な廃棄物が増えるとともに、異物混入時には異物を取り出し易く、運転効率もアップ。運転コストやメンテナンスコストなども削減可能となった。



▲顧客のニーズに合わせた処理
プラント設計

翌朝にはメンテナンスに駆けつける

同社は減容固化機への前処理工程を含む廃棄物の減容処理システムの設計・施工も行い、顧客のニーズに合わせた産廃物処理設備を提供している。アフターメンテナンスも重視し、納入先から午後3時までに連絡があれば、翌朝8時には現地に到着し作業するなど、顧客サービスも徹底している。